

団 体 名：光紙芝居

所 在 地：光市中央 6 丁目 26-17

活動テーマ：地域の文化や歴史を紙芝居で発信。活力ある地域創生へ

(活動紹介)

1 活動の目的

光市ならではの地域の昔話や民話等の文化資源を掘り起こして紙芝居を制作し、また、紙芝居というわかりやすい形でふるさとを伝え発信することにより地域振興や観光振興に繋げ、更には子どもの健全な育成など、活力みなぎる地域創りに努めます。

2 これまでの活動内容等

光市のお話 50 話を紙芝居で制作。会員は 30 名を超える多様な人達で構成し、ボランティアで学校・福祉施設・地域の行事などで紙芝居を年間約 90 回上演しています。

◆ **地域の文化、民話等の伝承と発信**

会の発足年度より毎月第 3 土曜日に定期上演を開催。わかり易い手作り紙芝居で誰もが気軽に郷土の事を知り楽しめるよう、フェイス to フェイスの暖かみのある場所作り、発信手段の推進や普及に努めています。

◆ **「紙芝居の市内 1 周巡り」で地域のよさ再発見**

市内全地域の紙芝居が完成した時点で「紙芝居の市内一周巡り」を推進し、「観て・触れて・感じる」ツアーを 10 年間で 6 回開催しました。現地のお話を紙芝居で上演し、埋もれていたものを知ってもらう事で地域おこしへと繋がるよう展開しています。

◆ **県内紙芝居団体との連携で魅力ある地域づくり**

県内紙芝居 24 団体を集め、第 1 回「山口どこでも紙芝居フェア 2011 in 光」を開催し、ふるさと紙芝居全国大会 in 宇部へと繋げました。山口どこでも紙芝居連絡協議会の運営にも関わり他団体の紙芝居上演事業の支援や実演、制作指導も積極的に行い、県内の団体間の連携や底上げを図ると共に観光・文化振興にも寄与しています。

◆ **地域の絆・連携の推進**

新市誕生 10 年を記念し、市内全域の協力を得て夙に地域自慢のものを描き、市内各地で一斉に夙を揚げました。又、紙芝居にした各地域のお話を「光ふるさとカルタ」として学校・図書館などに寄贈。カルタ大会も開催し、地域の連携を図っています。

3 活動の展望

多くの人に支えられての 10 年間。紙芝居の制作、上演をベースにふるさとの伝承活動を展開してきました。引き続き、誰もが自分の住んでいるまちを愛し夢を持ってふるさとを語れるよう地域に根付いた活動を充実し、繋げ広げていきます。



ふるさとの夙作り夙上げ大会



小学校(ふるさとの授業)